

YAおすすめ ブックリスト

第24弾

2017.12 発行



くにたち中央図書館

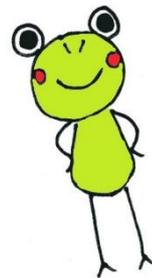
ヤッハロこんこん、としぞうだよ(ノゾ)突然ですが「チーム・えんのした」と再びコラボ!!!しちゃいます♪

「チーム・えんのした」は、“本と人をつなぐ”を motto に、古本の配布などの活動を行っている一橋大学のサークルだよ。

11月の一橋祭では、その名も『0円古本市』が開催されたみたい! 『洋書フェア』、えんのした蔵書の中でも特に古い本を集めた『古書フェア』、サークルメンバーおすすめ本3冊が入った福袋企画『福bookる』の日替わりフェアをしたんだって♪

そんな「チーム・えんのした」のメンバーの皆さんが、夏に引き続き、YAコーナーで展示をしてくれます!!

詳細は裏を見てね!



読みたい本を探しているひとは要チェック (>ω<)

『国語、数学、理科、誘拐』(青柳碧人/文藝春秋/YAあお) 身代金5千円!!しかも「すべて1円玉で用意せよ。」って…。

『恋文の技術』(森見登美彦/ポプラ社/も) タイトルを一見すると恋文の極意を教えてくださいなこの本。

『きみのためにはだれも泣かない』(梨屋アリエ/ポプラ社/YAなし) 心理描写が秀逸すぎる…。

『12歳からの読書案内』<金原瑞人:監修/すばる舎/YA019.04> 金原先生はYAに造詣が深く、たくさん「面白い」作品を紹介してくれます!

『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』(金原瑞人/牧野出版/801.7) タイトルにドン!!と書いてあるのに、数行でカレー屋の話はおわる…。でも!!

『神さまのいる書店』(三森せんや/KADOKAWA/YAみは) 不思議な本屋との出会いがヨミをかえていく…。まほろばの夏

『恋都の狐さん』(北夏輝/講談社/YAきた) 「20年間彼氏なし」で生真面目&ちょい天然な女子大生が狐さんに初恋!?

YAスタッフのおすすめ本紹介

(**' >ω<)

(* ~ ~ *)

(O-O—)

(* ' 卍 ' *)

(◡ω◡)

(人'ω'*)

(.◇.)

～えんのした展示企画第2弾～

『一橋生の読書感想文』



一橋大学の古本リユースサークルの「チーム・えんのした」による展示企画の第2弾を実施します！！

そのテーマは、ズバリ！読書感想文です。

本と一緒に、一橋生が書いた読書感想文を展示します。面白い本を探している人はもちろん、冬休みの宿題に読書感想文が出ている人や作文に苦手意識を持っている人はぜひ参考にしてみてください。(文章のマネは絶対だめ！！) 同じ本を読んでも、感じること、気づくことは一人一人違うのではないのでしょうか。感想文を読めば、なにか新しい発見があるかもしれませんよ・・・

場所：YA コーナー展示棚

期間：12月13日(水)～1月15日(月)

